

平成 28 年 10 月 11 日

新斎苑建設推進課

TEL 0742-34-5161

## 奈良市新斎苑建設に係る第三者評価について

### 1. 評価目的

奈良市においては、新斎苑（火葬場）建設事業を進めるに当たり、計画地の土質調査、周辺の地質状況調査及び斜面安定解析調査等を実施し、その結果、新斎苑建設に伴う計画地及び周辺地域への自然災害等に対する影響等について安全性は確認できたものと考えております。

しかし、市の実施した調査に対する客観的評価を求める声がありましたので、この度下記の3名の有識者の方々に、それぞれの専門的見地から奈良市が実施した各種調査・資料等について検証をしていただき、第三者としての評価を行っていただきました。

### 2. 評価者（京都大学ホームページから引用）

藤田 正治教授

○取得学位：博士（工学）（京都大学）

○京都大学防災研究所 流域災害研究センター長

○所属学会（国内）：土木学会、砂防学会、日本自然災害学会

○研究分野：砂防工学、土砂水文学、河川工学

（研究内容）土砂生産、土砂流出、河床変動現象を解明し、そのモデル化を図ることにより、土砂災害の予測と防止軽減策、流砂系の適切な土砂管理手法と管理のためのツール開発を行う。また、土砂管理に欠かせない土砂移動現象と関連した河川環境の諸問題も研究。

釜井 俊孝教授

○取得学位：博士（工学）（日本大学）

○京都大学防災研究所 斜面災害研究センター長

（研究内容）「地すべり現象」のメカニズム、特に破壊の伝播現象について研究。また、阪神淡路大震災以降、地震時における都市域の斜面災害、特に造成地の谷埋め盛り土における地すべりについても研究。

堤 浩之准教授

○取得学位：Ph. D（オレゴン州立大学大学院地球科学科博士課程）

○京都大学大学院理学研究科

○所属学会（国内）：日本地理学会、日本地質学会、日本地震学会、日本活断層学会 他

○研究分野：活断層研究、地形学、第四紀学

（研究内容）政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会 長期評価部会活断層分科会委員もされており、「変動地形学、活断層研究、テクトニクス、地形発達、海溝型巨大地震」を研究テーマに、中央構造線やフィリピン断層など国内外の長大活断層の地震活動などを研究されておられる変動地形学者。

### 3. 評価方法

現地調査並びに奈良市作成の各種調査資料及び説明資料による評価

（確認資料）

- ・ 奈良市新斎苑基本計画（案）
- ・ 奈良市新斎苑基本計画（案）概要版
- ・ 新斎苑の建設について～新たな火葬施設の建設 Q&A～
- ・ 新斎苑整備事業土質調査業務委託報告書
- ・ 新斎苑周辺の地質状況の報告書
- ・ 新斎苑整備事業斜面安定解析調査業務委託資料
- ・ 2016年5月22日市民説明会資料（土石流）
- ・ 2016年5月22日市民説明会参考資料（活断層）
- ・ 2016年5月22日市民説明会参考資料（奈良盆地東縁断層帯）

【問い合わせ】

奈良市市民生活部

新斎苑建設推進課

TEL 0742-34-5161